

かわだや かわら版

1つ挨拶

かわら版愛読者の皆様、こんにちは。代表の河田です。

桜の季節が近づいてきました。杉花粉の辛さも終焉を迎えつつあり、本来であれば様々なスポーツの開幕とともに明るい話題が世の中で飛び交うところですが、今回の東日本の震災ではたくさんの方たちが辛く、大変な思いをしています。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私も早い復興をお祈りいたします。

私たちの住む町もかつて経験したことのない大きな揺れを感じ、少なからず被害があった方もいらっしゃると思います。大変な思いをした方もいると思います。

今、そしてこれからも私たちに出来ることを考え、小さなことでも実行し、日本の未来の為に少しずつでも努力していきましょう。

かわだやも出来ることに限りはありますが、小さなことの積み重ねが大きな力になる”という意識を常にもち、これからも取り組んでいきたいと思えます。



【今月の1冊】



「信念の為には、たとえ敗れるとわかっていても、おのれを貫く、そういう精神の高貴さがなくて何が人間ぞと僕は言いたいんだ」という言葉でした。

今月の1冊は、岡本太郎の「強く生きる言葉」です。

書店で岡本太郎生誕100周年特集をやっているのを見た時はあまり興味がわかなかったのですが、後日、渋谷駅で京王線に乗り換えるときに、壁1面に岡本太郎の作品を拡大したものと思われるものがドーンとありました。”何か分からないけど凄いなこれ”というところから興味を持ち、改めて書店に行き、特集されている中でこの本を選びました。

この本は岡本太郎の名言集の1つですが、理解できるものもあれば、ちんぷんかんぷんなものもありました。

しかし、それぞれの言葉にはエネルギーを強く感じるものが多く、表現力が突出している気がします。

この本の中にはいろいろな言葉がありますが、私が最も印象に残っているのは”信念”

最近安さを売りにしている会社が増えてきたので、紹介以外のお客様には必ず、「当社よりも安い所はたくさんあると思いますが、無理な値引きは品質の低下につながるの値引き合戦には応じません。しかし、もし当社を選んでいただけたら誠心誠意努力します。」ということをお伝えするようにしています。

安さを売りにしている会社には敗れることも多々ありますが、”きちんとした仕事をする”ということをお頭に置いて、伝える力を磨きつつ、これからも取り組んでいきます。

ペンネーム よしろう

平成23年 3月

第六号

(向かわだや 発行)

【驚きの一輪】

左の写真、何の変哲もない寄せ植えですが、私にとっては驚きの写真なんです。

おとしの秋に、ホームセンターでビオラに一目惚れして、4株購入しました。他に白い小花と小さなクリスマスツリーのような鉢植えを買って、寄せ植えにしました。

でも、実は植物を育てるのが苦手なんです。水のやり忘れだったり、やり過ぎだったり、手入れのあまり必要でない観葉植物でさえ、うまく育てられず、枯らしてしまいました。

ビオラは半年はもったのですが、アブラムシにやられ、ダメにしてしまいました。ちょうど一年前のことです。

半年・・・長く楽しめた方でした。が、今年になって、芽が出て、花が咲いたのです！びっくりしたと同時に、苦手が克服できたような感じがし、うれしくなりました。最初は一輪でしたが、今では4、5輪咲いています。

種が土の中で、芽を出す時期を待っていたんですね。生命力を感じました。

今咲いている花がまた種となり、来年は今以上に花がきますように。

ペンネーム すーぱーまりお

